

白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

第1878回例会

令和7年11月20日

12:30～13:30



創立40周年

○ソング

- 奉仕の理想

○ビジター

- 福島ハイテクプラザ電子・機械技術・電子・情報科 柿崎正貴様
- 城d'白河 斉藤俊輔様
- 城d'白河 緑川順子様
- 城d'白河 鈴木光頭様

○スマイルBOX

- 藤田龍文会長（本日は福島ハイテクプラザの柿崎様、卓話ありがとうございました。ジロデシラカワ、御協力いただき、ポリオ募金、公共イメージ向上など、RC活動して参りました。）
- 運天直人幹事（柿崎様、卓話ありがとうございました。私もアナログ人間なのでたいへん勉強になりました。）
- 金田昇会員（ジロでしらかわ実行委員会の皆さまお疲れさまでした。今日は横浜でロータリー研究会参加です。）
- 大住由香里会員（ジロデ白河でのお手伝いありがとうございました。金田ガバナーエレクトからの赤いTシャツでロータリーをアピールできました。ママチャリレースへの参加もご協力感謝致します。）
- 関谷亮一会員（宮本多可夫会員の旭日緩章叙勲おめでとうございます。直一層の御活躍をお祈り致します。）
- 市川正人会員（本日は、誕生日のお祝いありがとうございました。）
- 沼田重一会員（ハイテクプラザの柿崎先生、卓話ありがとうございました。今月18日65歳の誕生日を迎える事が出来ました。プレゼントありがとうございました。）
- 山縣栄寿会員（本日もスマイルスマイルスマイルいたします。いつも会員の皆様方スマイル、ニコニコありがとうございます。）

【今週の仮メイクアップ会員】

- 11月8日 東白川創立50周年記念ゴルフコンペ
藤田龍文、齋藤孝弘、前原俊治、大住由香里、堀田一彦、吉成茂
- 11月16日 城d'白河
藤田龍文、金田昇、池田浩章、兼子聡、佐藤弘、十文字光伸、須藤正樹、長克則、富永章、阿部克弘、齋藤孝弘、上杉謙太郎、村上堅二、山縣栄寿、渡部勝也、矢田部錦四郎、菊地隆博、高畠裕、吉田充、鶴丸彰紀、佐川京子、大住由香里、永山龍太郎、大竹憂子、根本あゆみ、前原俊治、松永紀男、佐藤幸彦、山口治、吉成真五郎、諸橋和典
- 11月9日 青少年交換留学生第2回オリエンテーション
大竹憂子
- 11月20日 ロータリー研究会
金田昇
- 11月23日 わくわくマルシェ ポリオ募金
鶴丸彰紀、吉成茂、永山龍太郎、佐藤幸彦、松永紀男、大竹憂子

▶第1878回例会出席状況

（R7年11月20日）

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	58名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	18名
Ⓓ 全正会員数	76名
Ⓒ ①の出席者数	26名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓕ ②の出席者数	14名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ （メイクアップ補填後の出席会員数）	40名
Ⓗ = ⑥ - （⑦ - ⑧）	72
① = ⑥ / ⑨ × 100 （例会出席率）	55.5%

本日のプログラム

■会長の時間

藤田龍文会長



皆さん、こんにちは。本日はゲスト卓話ということで、「福島県ハイテクプラザ」のほうから柿崎様にいらっしゃっていただいております。後程担当のほうから紹介と卓話のほうにいただきたいと思っています。最近、寒波が来たということもあり朝も零度とか氷点下の気温になってまいりまして、今日も見るとマスクをしてたり、鼻声の方だったり、鼻になんか詰め物をされてる方もいたりして。体調のほう気をつけていただければと思います。先日、理事会がございまして、そちらの報告としましては新入会員が3名ご承認いただきました。ただ、私どももちょっと早く入れたいと気持ち先走り過ぎて、入会の期日は会員のそれぞれのご事情があつて1か月先とか2か月先の方もいらっしゃるようになってしまいましたが3名ご入会の承認をいただきました。そして、今日の午前中も会員拡大と思ひまして齋藤孝弘会員と二人でもうひとかたご入会を迫ってまいりましたので、近々に入会申込書をいただけるのかなと期待しております。まずは、何より先日40周年の記念事業ということも含めまして「城d'白河」のほう無事終了することができました。大変秋の行事が沢山入ってる中で会員の方々も約30名近くご参集いただきまして、誠にありがとうございました。思い起こすと「城d'白河」も12回ということで、その前身となるのが金田ガバナリーエレクトと当時の吉成清志パスト会長が泉崎のサイクルフェスタというのを班目さんのお父様と始めて、子供たちに自転車を含めたいろいろな社会貢献をしようということで始めた事業が始まりで、そこからクリテリウムっていうんだっけ、町中を走る自転車レースに発展して12年おかげさまでやることができました。班目秀雄さんのご令嬢の班目順子さんもいたおかげも大変ありまして12回という回数を数えられたこと本当にありがたく思いますし、残念ながらファイナルということではありますが、こういうイベントには必ず始まりもありますが終わりのあるということで、私どものフェイスブックにもいろんな形で続けてくれないかという要望もちょっといただいたりもして、そういう行事が企画運営できたということは班目一族を始め、商工会青年部の皆様のご尽力のおかげだと思っております。本日より入口の近くに大量にお礼の報告ということで商工会議所の方々来ていただきますので、後程報告のほうにいただきたいと思っております。それでは本日の福島民報のほうにも「城d'白河」の競技内容と、そして私どもの40周年記念事業ということで社会奉仕と国

際奉仕のほうで公共イメージの向上と、そしてポリオ募金ということで、皆さんポリオの赤いTシャツを着てとても目立つ異様な集団だったんですが、皆さんで着ていろいろな公共イメージの向上とポリオの募金と、そしてポリオのレースも作っていただきましたので、ポリオのレースのほうも参加したり、年齢上ママチャリ部門になりましたが会員も8人くらい皆さん翌日筋肉痛で大変だったと思いますが、ママチャリのほうのレースを皆さんポリオのシャツで参加させていただいたということがございます。そういったことで、後程詳しいところは緑川さんのほうからお話あるかと思いますが、ご報告をいただければと思います。そして、「ハイテクプラザ」の柿崎先生のお話、AIと。私も年齢的に大変とつきづら部分なんですが、そういったところを含めていろいろご解説いただければと思いますので、どうぞ楽しみにしていただければと思います。

■幹事報告

運天直人幹事

○米山記念奨学会理事長 峯純子:ハイライトよねやま308号

○白河南ロータリークラブ会長 茨木龍芳:白河南ロータリークラブ週報の送付について

●白河商工会議所青年部会長

齋藤俊輔様



皆さん、こんにちは。前回、私この場所で卓話のほうをやらせていただいた齋藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。11月16日「城d'白河 The Final」というところで、西ロータリーさんの方々多大なる協賛の程いただきまして誠にありがとうございました。無事に怪我もなく終了することができて、12回というなんかよく続けてこれたなとは思ってはいたんですけど、私本当に「城d'白河」に相性が悪くて、一番最初にやった時に台風で中止になって、コロナになって中止になった場合もありましたけれど、去年に関しては私インフルエンザになって、参加できなくて今年になってちょっと会長という立場でインフルエンザになるかなと思っはいたんですけど「城d'白河」開催の一週間前にインフルエンザになりました。無事に事業のほうには参加はできたんですけど、本当にこう続けていくっていうのって難しい事で終わるのは簡単だと思うんです。この12回本当続けてこれたというのはやっぱり順子さんも然り、皆様のご協力あつての事業だったと思っています。本当に12回続けてこれて私もこういうふうが一番最後の年に会長という立場で「城d'白河 The Final」を終了できたことということに私も

感謝することしかできないんですけど、また今後こういう事業多々あるとは思いますが、皆様もこれからのこういう事業あった場合ご協力の程をよろしくお願いいたします。本当に協賛の程、ありがとうございました。

●「城d'白河」事務局

緑川順子様



皆様、こんにちは。11月16日はご協賛そして当日のブースということで盛り上げにご協力いただきましてありがとうございました。本当にこの事業は2012年の白河商工会議所青年部の30周年の時に、私が30周年の企画室長をやっていてそれでなんか記念のものをできないかということで、私の得意とするというか家族がやっている自転車、こちらが白河の一つの特色なのではないかということで、こちらを軸にレースというところから始めたものです。まず最初は、町中を封鎖してグルグル周回するようなコースの案があったんですけども、こちらは大変警察のほうにも無理だということを言われ、じゃあ一番いいのは駅前を封鎖することなんじゃないかと。それをやろうという時に、結構沢山の方々に反対をされたことをちょっと今思い出しました。ですが、そんな中やると決めた時に西ロータリーさんは一の一番に是非協力するよと言っていたので、本当に心強かったことを覚えています。それから、今年までずっとご協賛そして当日のブースの運営ということで、お金でも人でも本当にイベントのためにご支援いただきまして感謝申し上げます。本当に本当にロータリーさんがいてくれたおかげで成り立ったといっても過言ではないイベントだったと思います。この年に2度の風物詩、私が来る風物詩はもうなくなってしまいます。「城d'白河」もなくなってしまいますが、白河西ロータリーさんの今年40周年、そして50周年、60周年と益々の発展を祈念いたしまして私のお礼でよろしいでしょうか。頑張ってください。ありがとうございました。

■各委員会報告

●三大研修セミナー実行委員会 矢田部錦四郎委員長



皆様、こんにちは。今、この西ロータリークラブでは実行委員会が多分3つ起ち上がって、皆さんの中でちょっと混乱になっていると思うんですね。地区大会は来年度です。そして私が担当してるのが、今年度からスタートする三大研修セミナーという金田昇ガバナー年度でその地区の役員研修会を設営する実行委員

会なんです。ですから、来年金田昇さんを支えるための地区の役員に、そして会長エレクト、このセミナーを3つ担当しております。9月の末に総務委員会。そして委員会の組織について皆さんで話し合いをして、今日皆さんの手元にこの赤いA4一枚入ってますので、時間ないので読みませんけども中身を確認しておいてください。なにしろ後期高齢者71歳の私が作った文章で誤字脱字、あと皆さんの順番に関しても入会年度をちょっと考慮した形で書きましたけど、多少ずれてたらご勘弁いただきたいと思います。そして、セミナーの開催する日時ですね。まず、地区ラーニングセミナーが最初のセミナーなんですけど、26年2月21日に開催されます。次に会長エレクト、次年度会長になる方のセミナーですね。これが3月28日に「八幡屋」さんで一泊二日でおこなわれます。それとクラブリーダーシップセミナー、これは500人ぐらい来るセミナーなんですけど、これは5月17日に開催されますので、その前日等に関して皆さんにいろんな準備、そして当日の準備をお願いしますので、この日程だけは前もって皆さんの手帳に予定を入れておいていただければと思います。あとは詳しいことは今日見てなんかわからない事があれば、私のほうまで連絡いただければと思います。よろしくお願いします。

●国際奉仕委員会

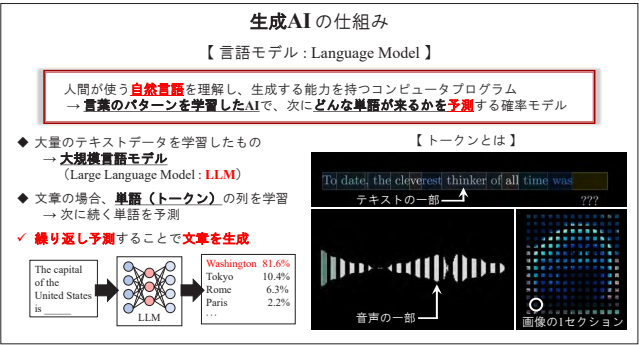
大竹憂子委員長



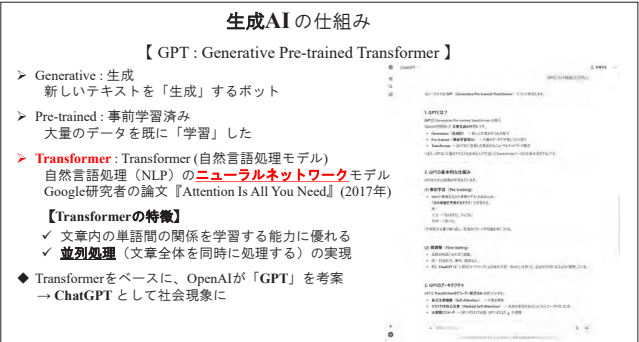
皆様、こんにちは。国際奉仕の大竹です。先日の「城d'白河」に皆さんのご協力いただきましてありがとうございました。そちらのほうの募金活動の結果というか報告をさせていただきます。11月2日に、わたくしの「おにぎりアクション」の時に募金活動した時は700円。それから、16日の「城d'白河」でポリオ募金の対象レースに参加してくださった方が8名で8,000円の募金をいただきました。また、皆様から細かいお金を募金していただいて、そちらが14,240円でした。合計で22,940円の募金をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。また今週ではありますが23日、JCのほうのイベントで旧五箇中学校のほうでイベントがおこなわれて、そちらでも私達ロータリーのほうで参加してポリオ募金活動をおこなうことになりましたので、是非お時間ある方、少しでもいいので旧五箇中学校のほうにおいでいただけるとありがたいと思います。

生成AIって何なのかというのを生成AIに聞いてみたところ、こんな感じの回答が出てきたわけですね。既存のデータを学習し新たなコンテンツを生成するAIの一種です。ということで、AIの一つです、生成AIは。テキスト画像、音楽、動画が生成できます。ディープラーニングという技術を用いて

います。ディープラーニング、これですね。更に、その中でもTransformer(トランスフォーマー)やGAN(ギャン)といったモデルがよく使われている。これが生成AIになります。有名などだとChatGPTですね、皆さんご存じの。これを発端に爆発的に生成AI人気になったというのもありまして、知名度が一番高いかなと思います。マイクロソフトが出してるCopilot(コパイロット)という生成AIでしたり、グーグルが出しているGeminiというAIも人気でよく使われてるとこです。



実際の生成AIの仕組みになりますが、言語モデルという人間が使う言語パターンを理解して単語を予測する確率を書きましたけども、生成AI、文章、音楽、その他コンテンツを生成するわけですけども、実際何をやってるかという予測ですね。人間から見ると作ってる生成してるという見方で見られすけども、中身としては数多の情報を学習した上で、例えば人間の問いかけに対してどう回答するか、その単語の羅列を予測するというのが生成AIの実際の挙動になっております。AIではよく推論なんて言いますが、そういう形でテキストを作ったり音声を作ったり、画像を作ったりということをしているということです。その為には大量のテキストデータが必要なので、ネットの情報を食わしてそれを基に学習させたものを大規模言語モデルといいまして、そのモデルを基に文章の続き、単語を予測して、これを繰り返し予測することで文章を生成していくということです。例えば、「アメリカの首都は」も、次に来る単語を予測するとワシントンということです。



GPTというのはChatGPTの中身になるんですけども、分解してみるとGenerative Pre-trained Transformer。それぞ

れ見てみると、Generativeが生成ですね。新しいテキストを生成するポット。Pre-trainedは事前学習済み、大量のデータを既に学習していますという意味です。Transformerというのが、最初に出てきたようにモデルですね。ディープラーニングのモデルになります。これはグーグルのお偉い先生が考えまして、これを使ってOpenAI(オープンAI)という組織がChatGPTを構築したということですね。この辺はさらっと話しますけどもトランスフォーマーをベースにオープンAIがGPTを考案した。それをChatGPTというアプリケーションで世に出したことによって、これが社会現象になったということですね。ちょっとここは一点注意点といいますが、これ事前学習済みってことなのですねメリットとデメリットがありまして、積もるところデメリットとしては、事前学習してもない情報が出せないということがありますので、生成AI使う上でどこまでの情報が学習されているかというのを確認しておくことが重要になります。この辺のモデルはオープンにされてますので、この辺までの情報は学習してますよということですね。グーグルGeminiは明示してないので中身はわかりません。若干過去の話なんですけど、これで何が起きるかという。

生成AIの主要サービス

【OpenAI】

- ◆ LLM: GPT-5, GPT-4o
- ◆ サービス名: **ChatGPT** (マルチモーダル)、DALL-E (画像生成)、Sora (動画生成)

【Google】

- ◆ LLM: Gemini-2.5, Gemma
- ◆ サービス名: **Gemini** (マルチモーダル)、imagen (画像生成)、veo (動画生成)

【Anthropic】

- ◆ LLM: Claude (Claude Opus/Sonnet/Haiku)
- ◆ サービス名: Claude.ai (マルチモーダル)

【その他】 **Microsoft Copilot** (米国)、Perplexity (米国)、DeepSeek (中国)、Llama (Meta(米国))、etc.

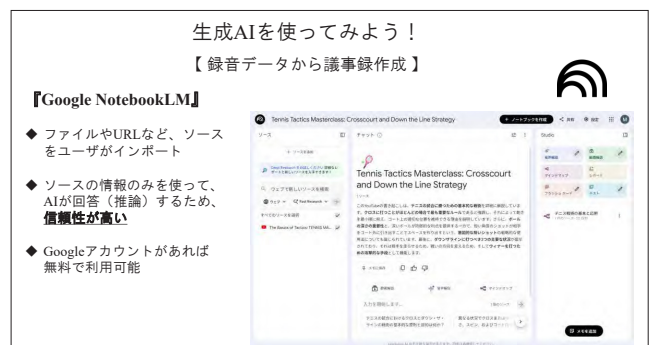
例えばオープンAIのGPT-4にですね、今の総理大臣は誰と聞くと高市総理とは言わないわけですね。最新の情報が学習されてないので。なので、生成AIを使う上で本当に新しい情報というのが基本入ってないということ理解した上で使っていただくというのが注意点になります。一方で最近ではリアルタイムで検索機能というのがありまして、我々がグーグル検索するような形で生成AIも自身でウェブ検索して最新の情報を取り入れて回答するという機能がある程度最新の情報にも対応できるようになってきたという最近の流れがあります。この辺は技術的な話にはなるんですけども、結局文脈が大事なのでいかに生成AIに適切に重要な情報を渡すかということが重要になってきます。先程のようにthe capital of the United States isまで生成AIに渡すとワシントンというのは予測できるんですけど、United States isだけだと、その次に来るのはじゃあ何なんだというのが生成AIのほうで

もあまり理解できない。生成AIに情報を渡す上で人間が知る情報をなるべく詳細に的確に渡す必要があるというところも、これも生成AI使う上での注意になります。ということでこれは、皆さんの使っているChatGPTの生成AIと言われるものになっています。ということで、じゃあ実際に実演をしたいと思いますが、もうちょっとだけ説明します。生成AIの主要サービスとして、オープンAIが出しているChatGPTというのが一番有名ですね。これが大規模言語モデル、こういったものを使っている、サービス名としてChatGPTという形で提供しています。Geminiはグーグルが出している生成AIですね。その他、Anthropic(アンソロピック)のClaude(クロード)とかも有名なんですけども、この辺もサービス名としてこういう形で提供している。その他、マイクロソフトのCopilot(コパイロット)、オフィスとの連携などができるので結構使っている方も多いか。Microsoft Edge(マイクロソフトエッジ)のウェブブラウザなんかに搭載されてますけども。こちらにも有名なんですけども、オープンAIとかマイクロソフトは提携してますので、実際の中身をオープンAIのGPTになります。その他こういったサービスがありますね。DeepSeekショックだなんて株価暴落してましたけども、そういった未だ様々なサービスが出てきて淘汰され未だ混迷している状況になってますので、どれが生き残るかちょっと私にもわかりません。これだけの様々な生成AIサービスがあるということです。一応指標がありまして、どの程度のスペックでどのモデルが強いのかという指標はネット調べれば出てくるんですけど。例えば、テキストですね。テキスト生成であれば、グーグルのGeminiが一番スコア高いです。次は、アンソロピックのClaudeで、オープンAIのChatGPTといった形でランキングされている。ウェブ開発ということこれはシステム開発の話なんですけども、これはGPTが強いですよということです。あとウェブサーチなんかはGrok(グロック)というものが強いんですけど。特徴的なのは、このビジョン系。画像、動画、その辺が強いのがグーグルのGeminiになっています。text to videoというのがテキストからビデオを動画生成する。これは画像から動画生成します。この辺はもうグーグルが抑えてるといって、画像とかグーグルが強いと覚えていただければいいかなと思います。これだけ生成AIのツールがあるんですけど、じゃあどれをどうやって使えばいいのかというところで非常に迷うかなと思います。まず、大前提としては生成AIはあくまでツールです。AIの目的ではなく、あくまでAIという手段を使って何かをやるということです。前提に是非考えていただきたいと思います。失敗するパターンとしてはやっぱりAIを使って何かやりたい。AIを使いたいということです。目

的がはっきりしてないと大抵失敗します。一方、成功するパターンというのは目的がはっきりしてるわけですね。何に何をしたいかというのがまずあった上で、それにAIが使えるかどうかというのを考えるというのが、これは成功するパターンになってます。AIは何ができるのかというと、例えばこんなことができますよというご紹介なんですけども、まずは目的はまだはっきりしてないけど何ができるのかまず知りたいということであれば、ChatGPT、Geminiなどですね。マルチモーダルAIといいますけども、簡単に言えば何でもできるAIです。テキスト入れるだけです。まずはこれを使ってみるのが一歩かな。



それからですね、更に発展したところで例えばパワポの資料、仕事用の資料作りたいということであればオフィス連携してるマイクロソフトのCopilotですとか、Gamma(ガンマ)というスライド生成のサービスなんかもありますので、この辺を使うのもいいかなと。



それから、よくある話で、会議、資料や録音データからその会議の議事録を作りたいということであれば、グーグルのNotebookLMというサービスもいろいろ提供してますので、これを使うのはいいんじゃないかなと。その他3Dモデルを作ったり、最近は音楽なんかも生成AIで作ります。あと、ウェブ関係でアプリを作ったり、プログラミングしたいなという、この辺のツールを使うのがいいかな。立派であるし、立派に増えてく、いつの間になくなってたりします。それが現状ですね。正直に言うと個々のスペックにさほど差がないので、使いやすいのを選ぶのがやっぱり一番いいのかなと思ってます。使いやすいというのと、あとはコストですね、やはり。幾らかかる

のかというのが考えた上でツールを買うというのが重要じゃないかなと思っています。今回は事前にアンケートを取っていただいて、ご要望のあったこちらのデモンストレーションですね。ちょっと時間許す限りやってみようと思っています。まず、パワポの資料作成、こちらGammaということですが簡単にできますよというサービスになってますね。これがサービスといってウェブでアクセスして使うんですけども、アカウント作るとこんな形でですね画面が出てきます。例えば、白河西福島県のロータリークラブを紹介する資料と打ってみると、どんなものができるでしょうか。まずですね、生成AIがこの福島県白河西ロータリークラブについて調べます。スライドのホットラインを添付してくれるので、こんな感じでスライド構成します。これでよろしいですか。デザインはこんな感じのデザインです。ちょっとライトにしましょうか。これで生成を押すとこれですね、合計10枚のスライドがすぐできると。これだけです。福島県白河市を拠点に、地域社会の奉仕と会員同士の親睦を深める活動を展開しています。画像は生成AIが適当に作った画像ですけども、このような本当にテキスト1行でこんな感じでずらっと書いてくれるということですね。わりと昔はあんまり性能良くなかったんですけど、最近割と使えるスライドが出来てきたので実務的になってきたかなと思いますね。これをベースにちょっとカスタマイズしてパワポ資料にするだけですぐ使えるというものが無料ですぐ出来るということですね。じゃあ、サクサク進めたいと思いますが、続いて議事録ですね。会議資料とか録音データからすぐ議事録が作りたい、これ手作業でやるとなかなか大変だと思うんですけども、今回はこのグーグルNotebookLM、これももちろん無料で使えます。これを使ってちょっとやってみたいと思います。これですね。グーグルアカウント持っていれば誰でも使えます。先程会長さんのお話録音させていただきまして、それを食わせてみたいと思います。ここにソースとしてこの録音データ、すいません、ちょっと違うデータ入っちゃいましたね、申し訳ないです。録音データちょっと転送できなかったの、すいません、後でちょっとプログラム委員長の永山さんにお渡しするので、永山さん後で議事録作成をお願いします。すみません。こちら音声データですね、読ませるとその中身について解説してくれます。これちょっとデモの練習でユーチューブ動画を押してちょっとファイル読ませて作ったものなんですけども、簡単にいうとラプラス変換の仕組みみたいなユーチューブ動画、それをスマホで録音して読ませて議事録できるかということで試したのなんですけども。こんな感じで音声の中身をざっくり議事録として作成してくれると。もうちょっと詳しくですね、事細かに文字起こしてほしいという

のであれば、文字起こししてというですね、この音声の中身を一言一句こう文字起こししてくれるという形で簡単に議事録は作れると。ちょっとデータが送れなくて申し訳ないんですが、こんな形ですね。簡単にすぐ議事録が作れるというデモンストレーションでした。



あと、マルチモーダルAIといいますけれども何でも出来るAIですね。特段目的はないけど、まず生成AIでどんなことができるのか知りたいという方も結構いらっしゃるの、まずはChatGPTでもGeminiでも構いません。やりたい事があったらまず聞いてみましょう。聞くだけならただです。アンケートの中でやってほしいことをお聞きしたらですね、株の売買のシグナル通知というなかなかチャレンジングなご回答いただいた方もいらっしゃるの、じゃあできるのかちょっとGeminiに聞いてみたいと思います。非常に実用的で面白いプロジェクトですね。株をやる上でシグナルを出します。その為に必要な技術要素はこれです。データ取得してシグナルを出すロジックを考え通知、バックエンドでチャートを取得して売買時期を予測するというベースの技術から更に具体的な形のステップまで提示してくれてますね、これは。Pythonでスマホにモバイル通知する場合。例えば、証券会社でAPIっていうその証券会社のアプリ、データにアクセスするためのプログラムキーみたいなものなんですけども、それを選んでアカウントを作ってシグナルロジックの設計作成し云々かんぬんという感じでアプリを作れます。チャート分析で移動平均線なんてありますよねそれを基にシグナルを試したいとか。ウェブサイトですりあえず通知だけ出したいとかいうやり方も全部生成AIから教えてくれます。こうテキストや音声でインタラクティブに動かせるアプリだと便利だと思いますので、じゃあどうやって作りますかと聞いてみるとこんな感じです。Pythonというのはプログラミング言語の名前です。テクニカル分析もPythonでできますよということです。AWSというのはアマゾンのクラウドサービスですね、これは。こんな感じで作れますよ、こういう方法でやったらいいんじゃないですかと、単価が2,500円超えて且つRSIが70を超えたら通知してというだけ作ってくれるってことです。やり

たいことあるけどどうやってやるかわかんないってなったら、まず聞いてみてください。生成AIが全部教えてくれます。ということで、簡単なデモがあったんですけども。

おわりに

- ◆ 近年のAIは、簡単に、安く（無料で）使えるようになりました。考える前に使いましょう。使ってなんぼです。
- ◆ AIを使いこなせるか否かは、**皆様のアイデア次第**です。アイデアを実現する方法は**生成AIが教えてくれます**。
- ◆ 大事なのは、**自分たちでやる**ことです。自社の課題を一番理解しているのは自社の社員です。

AIは「ツール」です。まずは使ってみましょう！！

最後に最近のAIは簡単に安く無料のサービスかなり増えています。なので、無料で使えるようになりました。考える前にまずは使いましょう。使ってなんぼです。AIを使いまくるか否かというのは、皆様のアイデア次第です。アイデアを実現する方法は生成AIが教えてくれます。大事なのは自分達でやることです。自社の課題を一番理解してるのは自社の社員です。ロータリークラブさんの名簿を見たところ、ITベンダーさんいなかったのと言いますが、何もわからずITベンダーに丸投げするとぼったくられます。なぜかという、AIって付くとシステム開発の相場がえらい上がります。なので、要はAIベンダー的にはAIを売った方が儲けになるんですね。ITベンダーはAIを売りたいというところに引っかからないでください。なので、AIについて知っておくことは我々ユーザー側でも重要な事だと考えています。ということでですね、AIはツールですということですから使ってみましょう。画像生成なんかも生成AIでできますね。グーグルのGeminiに画像生成のモードがありまして。Geminiのツールの画像作成。結構画像生成はやっぱり時間がかかりますね、これは何が遅いかというところグーグルの3番にアクセスしてグーグル内で生成AI動かしてるんですね。まず、ボトルネックとしてはそのグーグルのサーバーの速度。それから、生成結果をこっちまでダウンロードするまでの通信の遅延。この二点がキーです。なので、画像生成みたいに重いタスクをやると結構時間がかかると。ちょっと間に合いそうにないので、ご紹介だけにしたいと思います。ハイテクプラザのマスコットキャラクター、という作ってくれるんですけど、こんな感じのいかにもハイテクっぽい感じのサイバーな感じの3Dモデル化するサービスもありまして、それに食わせるとどんなことになるかというと、こんなふうになります。画像一枚から3Dモデル作ってくれるんです。これダウンロードして3Dプリンターで造形して遊んでます。これは基本的に無料でこう全部できるということですね。ということで、お時間になりました

ので以上になります。

●藤田龍文会長

本日は大変ありがとうございました。おそらく会員に皆様、こんなに未来が近くにあるんだというのを実感したというか、そういうのを体験できたと思います。なかなかそういうAIとかに行く世代ではちょっとなかなかない世代なので大変勉強になったと思いますし、これを実行していくのにもまた何回かシリーズでお話を聞きたいなと。先程気になってグーグルで白河西ロータリークラブの会長は誰ですかと聞いたら佐藤幸彦さんですと写真付きで佐藤会長の写真大きく出てきましたので、そこは生成AIにまだ情報入ってないみたいなので何年前でしょうかね、佐藤幸彦会長ですとね。3代ぐらい前の会長ということですが、情報まだまだ入ってない感じなのでそういったところも含めて、いろいろ勉強していきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。白河の銘菓ですのでご賞味いただければと思います。



白河西RC創立40周年記念事業
白河文化交流館コミネスの花壇整備

